

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2025年 11月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2025年 11月 1日発行 通巻390号

関東の山も紅葉シーズン真っ只中！
見とれて足元がおろそかにならないように
現在地の確認を忘れずに…

11月号 目次

ページ

- 02…目次・投稿原稿書式案内・表紙写真説明
- 03…10月理事会報告
- 08…山行報告1：生藤山、八重山、ゴンジリ峠（市川山の会）
- 11…山行報告2：天狗岳（ハケ岳）（ふわくハイキングサークル）
- 12…山行報告3：剣山（まつど遠足クラブ1年さくら組）
- 15…**行事報告1**：全国：自然保護講座 in 青森（自然保護委員会）
- 16…**行事報告2**：2025 クライミング講習（入門編）（教育遭難対策委員会）
- 18…**行事案内1**：第24回ウィークデーハイク（ハイキング委員会）
- 19…**行事案内2**：事故防止経験・交流集会（教育遭難対策委員会）
- 20…**行事案内3**：2025 第4回オンライン講習会
- 21…**行事案内4**：一生、筋トレ！ 栄養学と筋トレを学ぼう！（女性委員会）
- 22…予定表（11月・12月）



<ミニ情報> p.7: 韓国:紅葉ハイキング速報、紅葉の栗駒山

個人情報があるので取り扱いには注意して下さい。

『山行報告』や『行事報告』などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm
写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

『まつど遠足クラブ1年さくら組』の会員が、故郷の『剣山』に登頂し、『日本百名山全山踏破達成』となりました。

会の仲間、友人、そして家族の大きな支援を励みに登り続け、10月18日（土）に一緒に山頂に立ち、感激を味わった瞬間の一枚です。この日は天候にも恵まれ、思い出のたくさん詰まった1日だったようです。詳細はp.12～14をどうぞ…。（編集子）

2025 年 10 月 16 日（木）千葉県連理事会議事録

2025 年 10 月 18 日 佐藤作成

日 時 2025 年 10 月 16 日（木）19:00～20:45 オンライン

参加者 県連加盟各会理事 11、役員 7、全国連理事 1、ふれあいハイク担当 1

司会：田中理事、書記：佐藤理事（茂原） 合計 20 名（役員/理事兼務 1）

打合せ議題

1. 理事長挨拶（野田）

10 月になりやっと秋らしい天候になってきました。各地で熊が出没しており、人的被害も発生しています。山行時には注意しましょう。

皆さん、紅葉の秋山を楽しみましょう。

2. 役員会報告（野田）

- 1) 来年度の県連役員の決め方協議
- 2) 県連クラウドサーバの導入説明
- 3) その他

3. 全国連理事からの連絡・情報提供等

- 1) 石川 昌 副理事長 欠席
- 2) 山本尚徳 理事
 - ・全国連理事会 連盟費の見直し協議中
 - ・11/15-16 全国登山研究集会 参加者が少ないので参加をお願いします。

4. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

① 事故報告 今年 8 件目

団体名：東葛山の会 日 時：2025 年 8 月 21 日 12 時 頃

場所：乗鞍岳 山行形態：無雪期登山 事故者：81 歳（男性）

傷病名：左足首骨折 事故の原因：転倒 パーティー人数：14 人

② 5 月～10 月クライミング講習（入門編）

第 5 回目 9/28 に実施

場所：印西クラック 受講生：8 名 リードクライミング訓練

第 6 回目（最終） 10/18 予定

③ 事故防止・経験交流集会

日程：11 月 15 日（土）13 時～17 時 30 分、船橋市西部公民館第 1 集会室

内容：(1) 事故報告

(2) 事故事例研究（倉敷ハイキング倶楽部の広戸仙登山中の事故）

(3) 講習会（登山計画届システム「コンパス」の使い方）

(4) フリーディスカッション

※ 2 次会として有志による懇親会を予定。参加者募集中（11/1 締切）。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・全国第 27 回自然保護講座 in 青森 現地参加：4 人、WEB 参加：2 人
風力発電の被害について報告あり（ちばニュース 10 月号に報告を掲載）
- ・各会クリーンハイクの実績 菅井まで提出してください。全国連に報告します。

3) ハイキング委員会（田中）

- ・11 月 10 日（月）県連ウイークデーハイク 洞庭湖、軍荼利山
申込 10/14 田中まで 現状（10/16）の参加申込者：20 人、追加 OK
- ・新春ハイクの下見を行った。具体的な場所は、委員会にて今後検討する。

4) 組織委員会（野田）

- ・2 年毎の「各会状況調査」を行います。
調査票はほぼまとまりましたので、近々お送りします。2 年前とほぼ同様です。
年末までの内容を記入して、来年 1 月中頃までに提出をお願いします。

5) 女性委員会（広木）

講習会案内 11 月 21 日（金）14:00～17:00 船橋市西部公民館第 3 集会室
に予定していましたが、下記の通り変更して実施します。
実施日 12 月 5 日（金）13 時～16 時 船橋市西部公民館
12 月の平日で予定もあると思いますが参加をお願いします。
詳細は「ちばニュース 11 月号」に掲載予定。

6) 海外委員会（安彦）

- ① 海外登山：韓国/ソウル 5 大名山（道峰山、水落山、仏岩山、^{とぼんさん} ^{すらくさん} ^{ぶらむさん}）10/17-21
*参加申込者：13 名
*参加者説明会実施：9 月 19 日（金）19:00-21:00 鎌ヶ谷市中央公民館 13 名
*Q&A ミーティング実施：10 月 11 日（土）19:30～21:00 Zoom 10 名
*参加者全員用の『両替』および『T-money カード』の準備を現地ガイドに依頼
- ② 全国連盟海外委員会（10/14：Zoom）開催予定
*『2025 海外山行オンライン交流集会：10 月 29 日（水）』の開催準備最終確認
*参加申込受付中（ちばニュース 10 月号 WEB にて） 締め切り：10 月 22 日（水）
- ③ 『海外山行計画書』を必ず全国連盟海外委員会に提出してください。
併せて、CC で千葉県連海外委員会に提出して下さい。（メールをお願いします）
*計画書の書式は、特に定めていませんので、各会の書式をお願いします。
*提出者は、山行参加者、会代表者、山行管理者など何方でも構いません。

7) 機関紙委員会（安彦）

- ① 『ちばニュース』10 月号を 9 月 30 日（火）に配信しました。
- ② 『ちばニュース』への投稿依頼
*表紙用写真、山行報告、行事報告、気に入った山道具・山小屋などの投稿を
引き続き継続募集中。毎月 20 日を目処に投稿をお願いします。

5. 役員会より（野田）

1) 来年度の役員決め提案

①「理事の中から役員を決める」こととしたい。9月理事会で提案。

リスク管理上、役員は必要なのでぜひ選出をお願いします。

選出役員：会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長、会計

参考に現状の理事長の業務一覧表を提示します。（添付資料）

②良い提案などありましたらお願いします。

・理事と役員の兼務については、各会に任せる。各会で検討をお願いします。

・役員の適任者がいる場合は、理事にこだわらない。

③役員の負担軽減のため、役員会の業務改善提案が9月理事会でありました。

提案1：役員会と理事会を合体することはできないか？

⇒役員会は県連全体の活動方針、理事会での協議内容の事前確認等を行っているので、現状では難しい。

提案2：役員会の時間短縮を図ることはできないか？

（現状は2時間程度、毎月第2木 19:00～21:00）

⇒事前準備を充実することにより、役員会の時間短縮を図りたい。

*上記説明を行った。特に意見なし。今後何かあれば提案をお願いします。

2) 県連用クラウドサーバ導入

県連活動の利便性向上、情報の有効活用、データの保管等を目的に計画。

来年度導入を目指して計画を進めます。伊東教遭委員長に計画依頼中。

各会でも導入、運用について協力をお願いします。現状は個人のパソコンにデータ保管している。リスク管理上も必要と思われる。

⇒必要と思われるので推進してください（永尾）

3) 労山基金と他の保険などの比較表を全国連より入手（松戸山の会経由）

参考にしてください。（労山会員以外には展開しないでください）

労山基金は海外登山、入院・通院保障に特化している。

11/12に全国連で基金のオンライン説明会があるのでその時に確認できる。

4) 2026年3月1日（日）県連総会の開催に向けて準備を始めます。

2026年度の県連活動方針や要望等がありましたら提案をお願いします。

予算措置の必要なものがあれば、合わせて提案をお願いします。

5) 全国連へ「安全対策基金」の申請を行います。（申請資料説明）

県連活動に於いて安全対策に関連する費用の補助があります。（上限15万円）

6. 全国連からの情報展開（野田）

1) 第19回全国登山研究集会開催

11月15日（土）～16日（日） 新大阪ユースホテル

申込：10/14 締切（延長） 現在、申込みの連絡はありません。

2) 登山の筋力 測定と講習の案内

各会にて対応をお願いします。参加者の連絡を役員会までお願いします。

3) 2025 海外山行オンライン交流集会 開催

『インドヒマラヤの日本人未踏の谷に行く』

10月29日（水）19:30～21:00（Zoom） 申込締め切り：10月22日（水）

「全国連 HP」または「ちばニュース 10月号 p.28」から各自申込み

4) 2026 労山カレンダーの注文

高橋理事（岳人あびこ）担当。できる限り注文は1回のみにしてください。

2回目以降の注文には、更に送料が加算されます。注意してください。

全国連に注文と同時に、高橋理事に注文部数を連絡してください。

5) 労山基金オンライン説明会 11月12日（水）19:00～20:30 連絡済み

各会にて対応をお願いします。「全国連 HP」から各自申込み

7. 第18回ふれあいハイク中止（五木田）

日程：2025年10月26日（日） 君津市三舟山

約1年間、障千連と打合せを行い、準備をしてきましたが、障千連の参加者が7人と少なく実施できなくなり、残念ですが中止となりました。

各会参加者にはご迷惑をお掛けしました。

⇒ 今後要請があれば検討する。

バスハイクに限らず、実施方法や費用的な負担が少なくなるような方法を考える。例えば、現地集合、現地解散等も含めて。

8. オンライン講習会（伊東）

3回 9/25（木）登山計画届システム「コンパス」の紹介 27人参加

講師：インフカム株式会社 有意義な講習でした。

登録者数（2025/8現在） 216,056人 （参考：ヤマレコ 900,000人）

過去12ヶ月登山届提出数 348,000件

質問：コンパスは山岳安全対策ネットワーク協議会でもあるので、もっと山行管理機能に注力してはどうか

⇒協議会からの資金援助はない。要件をまとめ資金があればやる。

4回 11/27（木）クライミングの安全対策

講師：石川昌さん（全国連副理事長・遭難対策部長、船橋勤労者山の会会員）

9. 各会理事からの活動状況報告

1) 松戸山の会（渡部理事）

会員数：80人、平均年齢：67歳（80～40歳代）、今年創立43年となった。

年間山行300回程度（会山行＋自主山行）

他に個人山行（他会、他団体との山行）がある。

入会者が増えている。岩、沢、軽登山に分けている。夏合宿、忘年山行実施

- 6 月定期総会、7 月から新年度。山行参加者募集は、例会・HP で行っている。
- 2) まつど遠足クラブ 1 年さくら組（内藤理事）
- 会員数：15 人⇒21 人（入会者が増えた）
- 広報まつど（4/15）で初級登山講座募集 会員各々がテーマを決めて講師役
- 結果 7 人参加、内 6 人入会（男 2、女 4）
- HP やっていない。⇒ 会員を増やすためには有効、県連で支援可能（伊東）

10. その他（野田）

- 1) 11 月理事会 20 日（木）19:00～21:00 オンライン
- 2) 房総の登山道整備作業を再開します。日程が決まりましたら連絡しますので各会の協力をお願いします。（ハイキング委員会 田中委員長担当）
- 3) 「労山山岳事故対策基金」交付申請書は、全国連に提出前に野田まで提出してください。署名、捺印後返却します。（PDF 利用 電子データでも可能）
- 4) 労山カレンダーの申込 高橋理事（岳人あびこ）まで連絡をお願いします。
- 5) 鴨川メガソーラー工事が再開している。大規模工事により自然破壊が進んでいる。労山での対応は難しいが今後注視が必要。（菅井、田中）
- 6) 県連イベントへの申込みについて フォームを統一できないか（富永）
⇒ 良い提案なので考えてみます（野田）

<速報> 韓国『ソウル 5 大名山』紅葉ハイキング、無事帰国！

10 月 17 日（金）～21 日（火）の『4 泊 5 日』で、県連所属会員 13 名で、昨年 2024 年の 2 座（北漢山、冠岳山）に引き続き、3 座（道峰山、水落山、仏岩山）を歩いてきました。

昨年に続き連続参加した 8 名は『ソウル 5 大名山全山踏破』を見事に達成しました。詳細は、次号 12 月号に特集を組みます。乞うご期待！（海外委員会）

紅葉の『栗駒山』を満喫！！

10 月 1 日（水）～4 日（土）に、小学校・中学校時代の『喜寿祝同級会（10/2）』に参加をするために、岩手県奥州市（旧水沢市）に帰省しました。

同級会翌日（10/3）に、『日本一の紅葉』ともいわれる『栗駒山』を『須川温泉』から歩いてきました。レンジャーの「紅葉の始まりは例年と比べて遅いようだが、山頂周辺は今が見ごろを迎えつつある…」という言葉を励みに歩いてきました。

その言葉通りに、山頂一帯は錦秋の彩で今まさに見ごろといった感じでした。山頂は、多くのハイカーで賑わっており、山頂標識の前では、記念撮影のための順番待ちの長蛇の列ができていました。（編集子）



生藤山(990m)

市川山の会 成平 正子

コースタイムで歩くことができた、それもあまり苦労しないで。

6 時過ぎに西船橋を出発。初めに M さんから、参加者は男性 10 名、女性 15 名と参加者数と自分の近況報告があり。その後各自の近況報告等。山形の芋煮会、オーストラリア旅行、三番瀬の現状、気に入った会津駒ヶ岳、転倒・スリップが多くなっている

ので注意を、前回の山行の感想や反省、膝を酷使したのでスロー組、飢餓体験の重要性、地球温暖化の野菜への影響など思い思いに報告が。そのあと本日の予定と地図が配布され、生藤山の説明、行程、コース、班編成などを M さんが説明。順調にバスは進み、石川パーキングでトイレ休憩、スロー組が 8 時頃八重山登山口で下車。一般組は、8 時 24 分軍刀利神社で下車。準備運動後日本武尊を祭っていると説明書きの立札を写真に撮って階段を登った。階段を数えていた人から 75 段と教えてもらった。1 分後、数段の階段が見えた。階段の横に、桂の巨木。その奥に、奥社があった。賽銭を投げ、自分の名前と家族と皆の無事をお願いした。本社の建物のへりにたくさんの木刀が飾ってあった。M さんに教えてもらっていなければ気が付かないところだった。奥の院の横から登山道に入った。はじめは沢沿いの道で涼しく、歩きやすかった。ただずっと登りなので息が切れた。沢沿いの道が終わると植林された檜の道を歩いた。花などの植物があまり生えていず、ジグザクの急登を前の人とあまり差がつかないようにせっせと歩いた。時々水を飲みたいと要望が出た。その都度休みを取りながら、早く稜線に出ないかと思っていた。稜線には桜の木が並んでいて、テングス病などに感染して木が弱っている木が多くなっていることを実際の桜の木を示して説明あり、確かにそう感じた。三国山のほうが近いがまず生藤山に登ってから、戻って三国山で昼食だったので、まずは生藤山を目指した。10 時 22 分到着。それぞれ写真を撮り三国山へ。10 時 44 分三国山に到着。2 つテーブルとベンチがあり、自由に座って昼食。歓談。樹木が茂っていて、展望はよくなかった。食事中に 3 人のグループが来て、「タヌキに出会った」と言っていた。11 時 25 分下山開始。いつも下山は得意なのに、そして瓦礫や岩がなく、歩きやすい道なのに、前の人に離されないようにせっせと歩くだけで精いっぱいだった。そして車道に出ては、苔で転ばないように力を入れてジグザクで歩いたのでバスの自分の席に着くなり、左の腿と右の脚の付け根が攣って、慌てて薬を飲み、マッサージした。藤野やまなみ温泉で汗を流し、コンビニで買い物後、乾杯をした後の感想は、それほど苦労しないで、標準タイムで歩けた、転ばなかった、気持ちよく歩けた、山っていいな、時間も順調、曇り空で歩きやすかった、スローでよかった、コースタイムで歩けたのがうれしかった、足・腰が疲れたけれど転ばなかった、自分で歩く機会



を作り参加したので、皆についていけたなど満足な山行だったようです。皆さんの努力が実を結び、渋滞に巻き込まれず、早めに家に帰り着くことができました。歩きやすい道を選べたのも、下見に行ったからこそ。下見に行った皆様、ご苦労様でした。山行で出会った植物は、シュウカイドウ、ツリフネソウ、ミズヒキ、シモバシラ、ハギ、カラマツソウ、コアジサイ、ヒガンバナ等々

見晴拔群の八重山 (530m)

市川山の会 安司 正明

いつしかセミの声も、虫の音に代わる頃。「関東は前線が離れ、日中晴れ間が出る」の予報に9月例会を楽しむメンバー25名、定刻に西船を出発。スロー組の八重山8時45分集合、参加者18名(男性6名、女性12名)。リーダーMさんより資料をもらい、9時発のバスに約45分乗車して「さわらびの湯」で下車。トイレを利用し10時出発。有間ダムを渡った所でNさんの号令で軽く準備体操をしてから、白谷沢登山口までダム脇の車道を歩く。往路は白谷沢コース、復路は滝ノ平尾根コース、さわらびの湯で汗を流して帰路につく予定である。2班に分かれて10時30分登山口出発。耳で沢の音、目で苔むす岩を見ながらの沢登りは、まるでジブリの世界、時折蝸の鳴き声も聞こえて猛暑をしばし忘れさせてくれるようである。藤懸の滝を過ぎ、数回沢を横切り奥に進むにつれて道も陰しくなる。天狗の滝付近では一段と急登になり、ゴルジュ帯の通過は大迫力である。鎖やロープを駆使して足元に気をつけながら登る。12時10分 山登山口に8時到着。通常例会のスロー組は7~8名のところ今回は、夏山特①②参加者で若干足を痛めた人、今夏の猛暑で体調を崩した人などのスロー組参加で12名となる。準備体操後「登山道入り口八重山駐車場」でトイレをすませ登山開始。「八重山」は標高530m、標高差200m。昭和の初めに上野原に生まれ育った水越八重さんが、「町と小学校にお世話になった恩返しにと寄付した」ことにちなんで命名されたそうです。杉林の緩やかな傾斜から登山道は始まり、前日の雨で洗われたか、沿道の下草は水が滴り、中には「水引の花」が咲いていました。登山口から山頂まで「五感の森」として整備されている様で、森の花、森の鳥、森の昆虫、森の樹木などの写真が多数表示され、「八重山山頂コース」の道案内も数多く設置されていました。登山道も雑木林の路に変わり、緑のドングリ、栗のいがなども落ちており、木漏れ日の路は勾配を増してくる。何回かの休憩を繰り返し、階段状のピークを、息を切らして登りきると、展望台9時30分。広いデッキ、一部に花型の屋根の東屋、ベンチもあり休憩できる。丹沢、御坂、道志の山並に富士山も…、残念ながら「頭を雲の」の富士山でした。眼下には上野原の街並み、何処を向いても見晴らし抜群、250度の展望は素晴らしい。休憩後山頂を目差す9時40分。モニメントの鐘、八重の碑を経て山頂へ。展望台が山頂前のピークの為、



一回下り急勾配を登り返して山頂着 10 時 15 分。山頂にも小さいが東屋とベンチがあり、昼食とする。展望は若干樹木に遮られるが、木の間より展望台に近い広がり。また、山頂、展望台周りではヤマハギの花に出会い、季節の移ろいを感じる。山頂で記念撮影 11 時下山。約 1 時間 30 分で「登山口駐車場」着 12 時 30 分。駐車場には綺麗な水洗トイレがあり、前の中学校の生徒さんたちが、登山者のために清掃をしているそうです。ごくろうさまです。13 時予定通りに一般組と合流。リニューアルされた藤野やまなみ温泉へ。下山後温泉で汗を流した後のビールは最高でした。また、例会でお会いしましょう。お疲れさまでした。

夏のトレーニング山行報告 7 月 21 日（月）

市川山の会 吉峯 啓子

棒の折山 (969m) ⇒ ゴンジリ峠 (893m)。海の日の日。電車利用のトレーニング山行に参加した。西武池袋線飯能駅改札口午前 8 時 45 分集合、参加者 18 名（男性 6 名、女性 12 名）。リーダー M さんより資料をもらい、9 時発 のバスに約 45 分乗車してさわらびの湯で下車。トイレを利用し 10 時出発。有間ダムを渡った所で N さんの号令で軽く準備体操をしてから、白谷沢登山口までダム脇の車道を歩く。往路は白谷沢コース、復路は滝ノ平尾根コース、さわらびの湯で汗を流して帰路につく予定である。2 班に分かれて 10 時 30 分登山口出発。耳で沢の音、目で苔むす岩を見ながらの沢登りはまるでジブリの世界、時折蜩の鳴き声も聞こえて猛暑をしばし忘れさせてくれるようである。藤懸の滝を過ぎ、数回沢を横切り奥に進むにつれて道も陰しくなる。天狗の滝付近では一段と急登になり、ゴルジュ帯の通過は大迫力である。鎖やロープを駆使して足元に気をつけながら登る。12 時 10 分、白孔雀滝の上流で昼食をとることにした。思い思いに座る場所を見つけ溪流を見ながら弁当を開く。元気がでたところで、12 時 45 分出発。沢を抜け林道に交わる所で引率を含む 5 名が先に下山することになった (13:10)。岩茸石を確認してゴンジリ峠へと登る。急登に木の根っこが複雑に露出していて、体力を奪う。遠くでゴロゴロなっている。時間は 2 時近い。入浴や帰宅時間を考慮して棒の折山の往復は断念し、ゴールをゴンジリ峠に変更。皆そこまで頑張り、集合写真を撮る (14:05)。2 時 15 分下山開始。登りが大変なら下りも然り。岩茸石まで戻り、その裏側に続く瀧ノ平尾根を下ること 2 時間半。木の根で覆われた急坂の根をよけながら慎重に下山、振り返ると木の根がまるで生き物のように見えた。13 人は下山が 5:00 だったので、「さわらびの湯」で汗を流す人、17:10 の飯能行のバスに直ぐに乗車する人に分かれた。靴底はがれ、体調不良、下山時の転倒などのアクシデントもあったが、皆それぞれに自分の体と向き合いながら、よいトレーニングになった山行だった。お疲れ様でした！



2025. 10/12. 13 『天狗岳/根石岳山荘泊』

ふわくハイキングサークル 小野寺

台風 23 号の影響で予報がころころ変わりリーダーの方も大変だったと思います。10 月 10 日に「決行します」とのライン。私にとっては、八ヶ岳の西天狗岳（2646m）は過去最高峰への挑戦、身が引き締まる思いです。

10 月 12 日、朝 6：30 千葉駅に 5 人全員集合。何度か山に登っているメンバーなので気心が知れて安心です。あずさ 3 号に乗り込み 3 時間ほどで茅野駅に到着。駅からタクシーで約 50 分、1890m の桜平まで一気に上がります。2060m の夏沢鉱泉を目指して 11：00 登山開始。約 1 時間で到着。昼食・休憩の後、オーレン小屋（2330m）まで約 1 時間、夏沢峠を通り、飛ばされそうな強風の中 15：30 根石岳山荘に到着。手桶 2 杯と湯舟の入浴の後、18：30 から夕食。生ビールで乾杯。20：00 消灯。

2 日目、4：00 起床。5：00 朝食。幸い昨日の強風も 3：00 頃に収まり、6：40 根石岳山荘出発。根石岳を登り前方の東天狗岳を目指します。1 時間 20 分ほどで東天狗岳（2640m）に到着。東天狗岳からは、御嶽山、乗鞍岳、赤岳、阿弥陀岳、硫黄岳、北岳、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳が一望に見られました。ここから今回の山行の目的、300m 先の西天狗岳を目指します。8：28、ようやく 2646m の西天狗岳山頂に立ちました。ここでは写真を撮ったり休憩したりして 20 分程過ごしました。8：50 出発、1 時間ほどで第二展望台到着、10：40 に第一展望台到着。11：40 に唐沢鉱泉分岐。ここから唐沢鉱泉への下りの途中で私が歩けなくなり、休み休みの下山となり皆さんにご迷惑をおかけしました。

今回の山行は台風の影響でどうなるか心配でしたが、リーダーの方々の的確な判断とメンバー全員の協力でけが人もなく無事に下山できました。私にとっては、初めての 2500m 越え、山小屋泊、二日間で約 10 時間の登山と、貴重な経験をさせていただきました。

本当にありがとうございました。



日本百名山完登（剣山） & 徳島観光

まつど遠足クラブ1年さくら組 内藤光雅

やりました！！ 百名山完登しました！！

百名山最後の山は『剣山』、生まれ故郷徳島県の山です。ラストは、『剣山』にしようと思っていました。

さくら組のメンバー、友人、家族で、計17人（男8人、女9人）と一緒に登りました。前日より入山した三嶺縦走組、前日からレンタカーを借りた組、集合当日に夜行バスで徳島駅集合組と、グループ毎の剣山登山で、山頂で合流することになりました。

【10月18日（土）】

●徳島駅 8:00 → （車） → 見ノ越登山口 10:30

徳島駅では雨模様。天気予報では曇りだったのにとヤキモキしました。国道（酷道）428号をひたすら走ると、ずっと山道が続き、途中から対向車とすれ違うのがやっとの狭い道になります。

天気は、暗い雨雲から曇り空になり、最後は陽の光も垣間見え、気持ちもうきうきしてきました。

●見ノ越登山口 10:30 → （徒歩） → 西島駅 11:30

見ノ越登山口の駐車場は満車でしたが、近くの駐車場になんとか駐車することができました。いよいよ登山開始です。登山道沿いには、途中まで観光登山リフト（15分）が設置されています。

●西島駅 11:30 → （徒歩） → 山頂 12:30

樹々もだいぶ色づき始めています。途中には、剣山の名の由来とも言われる大劔神社、背後には50メートルもの高さの「御塔石」がそびえたっています。

大劔神社に巫女さんがいましたが、普段は不在らしく、剣山を20回程登った方が「初めて会えて、今日は縁起がいい」と。

自分も、今日という日に会えて、気持ちが高揚しました。

●山頂

山頂手前のヒュッテで皆と合流し、山頂まであと一步。

山頂付近には、植生保護のために整備された木道が広がっています。感慨深い思いで、一步、一步あゆみを進めました。

山頂に到着しました！！

嬉しさのあまり「最高です！幸せです！」と叫びながら、皆と握手。





山頂で集合

また、さくら組からは、大きなエンジ（出身大学のカラー）の横断幕やタスキ

（「百名山達成したじょー ごっついだ！」）をいただき、まったくのサプライズで感無量でした。

記念撮影では、出身の小松島市名物「竹ちくわ」を手に「はい！チーズ」。

居合わせた登山者からも大きな拍手をいただきました。

見渡すと、山頂からは、四国の山々が綺麗に見え、四国山地の真ん中三嶺に続く縦走路もクッキリと眺められました。

下山後は、登山口近くにある「ラフォーレつるぎ」に宿泊して、「百名山完登祝い」の会を開いていただきました。

乾杯用として、伊勢サミットで供されたという甲州スパークリングワインをわざわざ会のメンバーが持参してくれました。

また、徳島の友人の奥様が人数分の手づくりのおはぎを用意してくれました。

気遣いに感謝です。



次郎笈から見た剣山

お祝いの会



【10月19日（日） 徳島観光】

翌日は、なかなかアクセスが悪くて行くことが難しい四国の秘境 祖谷地区を観光をしました。

「名頃かかしの里」、「祖谷のかずら橋」、「ひの字溪谷」、「小便小僧」、「大歩危峡観光遊覧船」と見どころ満載でした。

「祖谷のかずら橋」は、長さ 45 メートル、幅 2 メートル、高さ 14 メートルのかずらで編んだ橋です。足を踏み出すとギンギン揺れます。橋のすき間からは下が丸見え状態で祖谷川の清流が見られます。スリル満点で足がすくんでしまいます。

「大歩危観光遊覧船」では、吉野川の清流の両岸が V 字型になっている溪谷を眺めながらゆったりと遊覧。紅葉には、まだ少し早かったですが、溪谷美を楽しめました。

その後は、徳島に戻り、「吉田類の酒場放浪記」に取り上げられたことのある徳島駅前にある「安兵衛」で地元料理に舌つづみ。

最後は、「阿波おどり会館」。地元有名連による本場の阿波踊りを堪能して、踊子からの実地指導を受けた後は全員舞台に上がり、「踊る阿呆に見る阿呆」と踊り乱れました。

百名山最後の山を故郷の山で締めくくり、たくさんの会の仲間と一緒に登ることができて最高でした。また、文句も言わず山登りに行かせてくれた家族に感謝です。

ありがとうございました。



大歩危遊覧



かずら橋

『日本百名山全山踏破達成』おめでとうございます！

次の目標は何でしょうか？

まずは達成の充実感・満足感にしばし浸ってください。

そして、新たな目標に向かって歩みを続けてください。

第 27 回自然保護講座 in 青森

テーマ：大型風力発電による自然破壊と健康被害

自然保護委員 かがりび山の会 山本久美子

日時：9月27日～9月28日

場所：弘前市岩木青少年スポーツセンター

参加者：都府県から60名(会場46名WEB14名)

千葉県から 会場4名+WEB参加者2名

報告：

最初にMご夫妻(元秋田県連会員)から風力発電による被害報告があり、秋田県内の風力発電の現状とそのもとでの健康被害の状況と取組みの説明があった。記念講演は佐々木邦夫氏(風力発電を地域から考える全国協議会共同代表)から「風力発電が稼働した地域での課題」と題し、北海道での現状と課題の説明があった。北海道では、陸上風力が460基稼働、その約4.3倍の1993基が計画され、洋上風力も日本海側中心に数多く計画中である。全稼働中の59%が道北にあり、うち宗谷地方は面積では京都府と同程度のエリアに820基出来る予定となる。

風力発電による影響は①風車騒音による影響、②シャドウフリッカーによる影響、③作業道における法面崩壊、④鳥類への影響(バードストライク)、⑤魚類への影響(絶滅危惧種)、⑥航空障害、などによる影響など様々な問題が生じている。天然記念物で絶滅危惧種のおじろワシのバードストライクが営業開始の1年9ヶ月で11件発生している地域もある。地域外からの自由な経済活動を行う発電業者の利潤追求の場になっているのではないのか？地域にとってのメリットとは？意思決定への住民参加の問題、環境アセスメントの問題、エネルギーの地産地活など課題も提起された。

7 地方連盟報告(岩手、宮城、京都、大阪、徳島、奈良、滋賀)から自然保護活動の取り組みや大規模開発問題等が報告され、各地で起きている風力発電やメガソーラ計画なども多く出された。

質疑・交流では、自然エネルギーのあり方や原発に依存しないエネルギー政策をどの様に進めたら良いのか等が課題として残った。

夕食の懇親会では全国の会員と交流を深める事が出来た。

岩木山交流山行

開催地の青森県連、協力の岩手県連のお世話で岩木山交流山行が行われ、40名が参加した。地元の人からも珍しいと称賛された快晴、8合目ターミナルを出発し山頂から360度の大パノラマの眺望を楽しんだ。山頂からは、日本海側の海岸から平野にかけ

大型風車が林立している状況を確認することが出来た。課題を共有し交流を深めることができ大変有意義な2日間の自然保護講座になった。



2025 クライミング講習（入門編）実施報告

教育遭難対策委員長 伊東春正（かがりび山の会）

教育遭難対策委員会主催で実施したクライミング講習（入門編）を報告します。

(1)はじめに

クライミングは危険なスポーツであり、転倒や落下などのリスクが伴う。

（昨年、千葉県連ではクライミング事故が5件発生している。）

このためクライミングの基本技術や安全にクライミングする方法を学ぶことが必要となるが、高齢化で経験者が引退し、個別の会ではクライミング技術を教えることが難しくなっている。

そこで、今年も県連主催による初心者向けのクライミング講習を企画した。

(2)講師

教遭委員2名と会でクライミングを教えている4名、昨年の受講生1名の協力で計7名で交代して指導した。（山の会「岳樺クラブ」、ちば山の会、船橋勤労者山岳会、かがりび山の会）

(3)受講生

男性3名、女性5名（茂原道標山の会、東葛山の会、船橋勤労者山岳会、岳人あびこ、千葉こまくさHC、ちば山の会）

(4)講習期間

2025年5月24日（土）～10月18日（土）の期間に月一回で計6回実施した。

(5)目標

室内ジムでリードクライミングができるレベルをめざした。

難易度は5.10aを目標とした。

(6)講習内容

1回目：船橋東部公民館、アウトドアショップ「ヨシキ&P2」 10時～15時

- ・ハーネス・ロープ・確保器具の正しい装着・使用方法
- ・クライミングとビレイのやり方の説明と実技

2回～6回目：室内クライミングジム（印西クラック）10時30分～15時

- ・最初は講師がバックアップビレイを行いながらトップロープクライミング訓練。
- ・次にリードクライミング訓練に移り、講師がトップロープで確保しながら、登攀時にもう1本のロープをクリップする「擬似リード」で訓練。
- ・その後、トップロープの確保なしでクリップの訓練を行い、最終的に全員がリードクライミングができるようになった。
- ・技術的には、登り方に関するスミアリング、ダイアゴナル、安全確保ではトップロープでのビレイ方法、リードクライミングでのビレイ方法とロープをカラビナにかけるクリップを訓練した。

(7)受講生の感想

- ・クライミング経験が、今シーズン3回の山行（ジャンダルム、劔岳、槍ヶ岳）に大変役に立ちました。
- ・入門編でもレベルの高い内容だと感じました。ビレイの訓練をもっとやってほしかった。
- ・山は登山しか知らなかったが、会に入って沢登りやクライミング等いろんな楽しみ方があるのを知りました。
- ・講習の回数を増やしてほしい。
- ・所属山岳会では出来ない、県連ならではの講習会だと思います。今後もこの様な取り組みを続けてほしい。
- ・1組に1人専属の指導者がついてくださると、受講生は安心ですし、安全面でもよりよいと思います。

(8)所感

前回まで65歳以下の年齢制限をしていたが、今回はこの制限をなくした。

制限解除により65歳以上の受講生が3名（最高齢は77歳）参加したが、問題なく訓練を行えた。

高齢者はトップロープだけの訓練かなと考えていたが、杞憂に終わった。

前回受講生の方に、今回は講師補佐として支援していただいた。

講師も高齢化しており、受講生のみなさんには、今回、身に着けた基本技術を今後の訓練により確実なものにして、クライミング講習の講師として協力していただけることを期待したい。

以上



後方右の3人は講師です。

「春のウィークデーハイク」再チャレンジ！
『低い やまあいの道』参加者募集

『関東ふれあいの道（千葉県）No.14』

千葉労山アレンジコース

軍荼利山・洞庭湖

日時：11月10日（月）

現地集合・現地解散/日帰り

集合：外房線『東浪見駅』改札口付近 午前8時10分

<ハイキングコース> 約5時間（含む休憩）

東浪見駅 8:15…8:45 軍荼利山 9:15…峠 9:45（休憩）…

…10:20 洞庭湖…10:30 トイレのあるところ<昼食・洞庭湖散策>11:00…

…11:40 望洋公園…13:00 上総一宮駅 解散（公共トイレは洞庭湖のみ）

問合せ・申込み：田中康男（ハイキング委員会）

Eメール：dz05434@nifty.com TEL:090-8331-6858

各会で纏めて申込みを…

**締切日（10/17）は過ぎていますが、
今すぐ連絡を…！**

中止の場合は、3日前の

詳細は、『ちばニュース8月号』参照

11月7日（金）19:00頃にメールでお知らせします。

2025 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
今回は、二次会として有志による懇親会を行い、より交流を深めたいと思います。
詳細は下記を参照下さい。

記

1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会

2) 日時 **11月15日(土) 13時～17時30分**

(12時30分より受付)

3) 場所 船橋市西部公民館(理事会開催場所) 第1集会室

JR 下総中山駅、または京成本線京成中山駅から徒歩約7分

4) 内容

(1) 事故報告

今年度発生 of 事故報告。

(2) 事故事例研究

「倉敷ハイキング倶楽部」による「広戸仙」登山中に滑落し死亡したケースを取り上げ、全体でディスカッション。

(3) 登山計画届システム「コンパス」の使い方

登山計画の作成・提出、登山中の現在位置、下山連絡、グループ機能による山行管理を解説。

(4) フリーディスカッション

3つのテーマから希望するテーマのグループに参加し、自由な意見交換による情報交流。

☐ 初級登山者教育の取り組み

☐ 事故再発防止の取り組み

☐ クマ、蜂、マダニ、毒蛇などの対策

(5) 懇親会(希望者)

駅近くの居酒屋にて、会活動の話題や県連への要望・不満など気兼ねなく歓談しましょう。

5) 参加申込／締切

別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請してください。

教育遭難対策委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

締切：11月1日(土)

参加者は**30名**程度(スタッフ含む)を予定しており、申込多数の場合は、調整することがあります。

2025 オンライン講習会案内

今年 2025 年も、恒例の『オンライン講習会』を 4 回企画しました。

今年度の最終回（4 回目）を迎えました。多くの参加をお待ちしています。

<1> ネパール：アマダブラム 6,856m 遠征報告

(2024 年 10 月 22 日～11 月 16 日 (26 日間))

*講 師： 平野直子 氏 (ちば山の会)

*日にち： 4 月 24 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分

(講演 60 分、質疑応答 30 分)

***参加者：24 名 (講師含む) 午後 8 時 45 分終了 視聴多謝!!**

終了

<2> ヘリ救助要請する場合の注意点

*講 師： 横山一隆 氏 (ちば山の会)

*日にち： 6 月 26 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分

(講演 60 分、質疑応答 30 分)

*『救助要請から待機・救助まで』を、ヘリコプターで救助する側の立場から「登山者の行動・注意点」などについてアドバイスあり。

***参加者：26 名 (+ビデオ参加：講師) 午後 8 時 35 分終了 視聴多謝!!**

終了

<3> 登山計画届システム「コンパス」の紹介

*講 師： インフカム株式会社 代表取締役 こんふみやす 今吏靖 氏

*日にち： 9 月 25 日 (木) 午後 7 時～9 時

*テーマ： コンパスと会山行管理の連携等の有用性

***参加者：26 名 (+講師) 午後 8 時 50 分終了 視聴多謝!!**

終了

募集中

<4> クライミングの安全対策

*講 師： 石川昌氏 (全国連 遭難対策部長、船橋勤労者山の会)

*日にち： **11 月 27 日 (木) 午後 7 時～9 時**

*昨年 2024 年は、クライミング事故が 5 件発生しました。

*「参加申込書」は、『2025 ちばニュース 11 月号』と同時配信します。

*** 申込先：伊東春正 itou2385@yahoo.co.jp**

*** 申込締め切り：11 月 20 日 (木)**

楽しく！ 学ぼう！

- ・ いつまでも、山に登るために
- ・ 楽しく、自立した生活のために

「栄養学と」「トレーニング」を 正しく 学ぶ 講習会です

・ 実施日 : **12月5日（金）**
13時～16時

- ・ 場所 : 船橋市西部公民館 第4集会室（2階）
- ・ 講師 : 石田 良恵 先生
- ・ 講師紹介 : 保健学博士、女子美術大学名誉教授
: フロリダ大学スポーツ科学研究室客員教授
（1989年～1990年）
: 専門は皮下脂肪・減量・加齢
: 退職後、日本の山からヒマラヤ、ブータン、
キリマンジャロ、台湾等で意欲的に登山を
行い、筋トレの重要性を実感する。
: 山筋ゴーゴー体操を考案し、全国に普及する。

- ・ 「いつまでも山に登る」「自立した生活を送る」ための講習会です。
講師は、栄養学と筋トレの専門講師、おなじみの「石田良恵先生」です。
- ・ 12月のウイークデイで何かとお忙しいと思いますが、役立つ内容です。
労山会員だけでなく、お友達やご近所で「栄養や筋トレ」に興味のある
方に声を掛けて下さい。
- ・ 日頃、疑問に思っている事や悩んでいる事を質問して下さい。
石田先生も、皆さんとの交流を楽しみにしています。
- ・ 参加費はありません。
- ・ **参加申込み**は「**11月20日**」迄に各会の県連理事に連絡して下さい。
- ・ 問合せ・連絡先 : 広木 国昭（千葉県連盟女性委員会）
Eメール : danphiro@jcom.zaq.ne.jp (090-8316-2020)

県連活動予定表

11月			12月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	土		1	月	
2	日		2	火	
3	月	文化の日	3	水	
4	火		4	木	
5	水		5	金	講習会「高齢者の栄養とトレーニング」
6	木		6	土	
7	金	立冬	7	日	大雪
8	土		8	月	
9	日		9	火	全国海外委員会(ZOOM) 19:30
10	月	ウィークデーハイク	10	水	
11	火		11	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
12	水	全国労山基金オンライン説明会19:00	12	金	
13	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00	13	土	
14	金		14	日	
15	土	事故防止経験交流集会	15	月	事故防止・経験交流集会
16	日		16	火	
17	月		17	水	
18	火		18	木	理事会 (船橋) 19:00-21:00
19	水		19	金	
20	木	理事会 (ZOOM) 19:00-21:00	20	土	
21	金		21	日	
22	土	小雪	22	月	教育遭難対策委員会(ZOOM) 冬至
23	日	勤労感謝の日	23	火	
24	月	教育遭難対策委員会(ZOOM) 振替休日	24	水	
25	火		25	木	海外委員会 (ZOOM) 19:30
26	水		26	金	
27	木	オンライン講習会 (ZOOM) 19:00	27	土	
28	金		28	日	
29	土		29	月	
30	日		30	火	
			31	水	

事故発生時の連絡先

各委員会、25日までに予定を連絡ください。

●事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 安彦秀夫

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません